

# 第9回 みどりの式典

「みどりの学術賞・緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を授与」



4月27日、東京都千代田区の憲政記念館で天皇皇后陛下ご臨席のもと、菅内閣官房長官、林農林水産大臣をはじめ約250名が出席し、第9回みどりの式典が開催されました。

式典では、「みどりの学術賞」及び「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」の授賞式が行われました。

「みどりの月間」(毎年4月15日～5月14日まで)に開催されている「みどりの式典」は、「みどりの日」について国民の関心と理解を一層促進し、「みどり」について国民の造詣を深めるために内閣府によって主催されており、「みどりの学術賞」の授与と「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」が行われます。

第9回みどりの学術賞を受賞した進士しんし五十八ごそや氏は受賞者を代表して、「私たち人間は、それぞれの気候風土のもとで、生物的自然と共生する生産と生活の技術を発達させ、文化芸術にまで高めて、緑豊かな美しい国を創造してきました。生物多様性や気候変動など地球環境問題の解決、緑のまちづくりによるコミュニティの再生、農地や里山の保全活用による地方の再生などの継続的な努力と活躍が今日ほど強く求められていることはありません」と述べるとともに、研究や活動に対する支持・協力への感謝の意を表しました。



受賞者挨拶



# 第9回 みどりの学術賞

「みどりの学術賞」は、国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等に係る研究、技術の開発その他の「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に内閣総理大臣が授与し、その功績を讃えるものです。

第9回の受賞者は進士五十八氏と寺島一郎氏の2名でそれぞれの功績は以下のとおりです。



しんじ いそや 東京農業大学名誉教授  
**進士 五十八**

日本庭園について、哲学や歴史等に着目した従来の人文科学的なアプローチではなく、自然科学的な手法を用い、膨大なデータを分析し、その特質を解明しました。その結果、日本庭園が、日常生活から隔離された特殊な空間ではなく、農業技術を基礎とし、また自然との共生によりはぐくまれてきたわが国の生活・文化、すなわち「農の風景」が凝縮されたものであることを明らかにしました。



この成果を踏まえ、景観の保全・育成や都市農業の復権に向けた市民活動の重要性を説き、今日、全国各地で見られる市民農園や里山ボランティア等の底流を形作るなど、みどりに対する国民の理解増進に大きく寄与しました。

てらしま いちろう 東京大学大学院理学系研究科教授  
**寺島 一郎**

植物群落における太陽光の利用というマクロスケールの生態学を、個々の葉内での光利用というミクロな生態学へと発展させました。葉の内部構造と光合成との関係を詳しく調べ、1枚の葉の中でも表面の葉緑体は強い光、裏面の葉緑体は弱い光を利用するのに適した性質をもち、葉全体の光合成の効率上昇に寄与していることを明らかにし、葉緑体分化の謎を解明しました。



また、大気中のCO<sub>2</sub>濃度の上昇が植物の生理・生態に及ぼす影響の解明にも成果を挙げるなど、植物生態学をはじめとする幅広い分野の学術の発展に大いに貢献し、みどりに対する国民の理解増進に寄与しました。

# 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰

「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」は、緑化思想の普及啓発に顕著な功績のあった個人、団体を内閣総理大臣が表彰するものです。

平成27年は、13の個人・団体が表彰されました。



## 個人

はます あつよし 濱須 篤義 (福島県南相馬市)  
すぎやま おさむ 杉山 宰 (徳島県三好市)

## 団体

- 「緑いっぱい市民運動」世話人会 (北海道釧路市)
- 那須塩原市立東原小学校 (栃木県那須塩原市)
- 川場村 (群馬県利根郡川場村)
- 花の会・つるぎ (石川県白山市)
- 高森町 (長野県下伊那郡高森町)
- 明光化成工業株式会社 明智工場 (岐阜県恵那市)
- 市立御前崎総合病院 花の会 (静岡県御前崎市)
- 乙川を美しくする会 (愛知県岡崎市)
- 三朝温泉かじか蛙保存研究会 (鳥取県東伯郡三朝町)
- 熊本市立帯山中学校 (熊本県熊本市)
- 実生の森実行委員会 (熊本県水俣市)